リグナ・プラス・ハノーバーと欧州 CLT 工場を視察

知際微學學了一名015

沖機械株



ツアーではリグナ・プラス・ハノーバー視察のほか様々なCLT関連工場を訪問した

製材・木工機械の総合商社である沖機械株式会社(広島県広島市、沖清社長)は、5月11日から15日まで開催される木材加工分野で世界最大規模の専門見本市「リグナ・プラス・ハノーバー2015」に合わせて、見本市とCLT関連工場を訪問する視察ツアーを企画。日本国内でCLTを扱う各企業や行政の研究機関等ら総勢23名で欧州の各地を回った。

リグナ・ハノーバー(国際木工・林業機械見本市)は2年に一度開催される木材加工技術の専門見本市で、林業用機械・運搬車両及び装置、木材及び単板製造用機械、木材加工技術、木屑利用、指物・家具及び建具手工業用機械、木工用手工業のための機械、木造建築、内装、木材技術及び応用技術、産業用家具製造のための機械、自動化技術など、世界中の最新技術やソリューションを幅広く網羅。130,000㎡の広大な展示会場では、木工の素材調達から製造過程、最終製品に至るまでの全プロセスに必要となる木工機械や技術

などが紹介された。

視察ツアーはフルツアーとなる1班と、CLT 関連工場を視察する2班に分かれての催行となった。ツアーの大まかな行程は、5月13日に出国し、14日~15日がリグナ・プラス・ハノーバーのガイドツアー、16日~17日がスペイン・ドイツ両国の木造建築の視察、18日~21日までがCLT関連工場の視察となっており、22日の機中泊を経て5月23日に帰国となっている。

14日~15日の行程では、沖機械が扱うフンデガー社のCLT加工機やシステムTM社のクロスカットライン、CLT用プレス等のメーカーを回りガイドツアーを行った。

18日~21日の行程では、CLT製造は行わずに、加工のみ(プレカット)を請け負うバイバーホルツ社や、接着剤を使わない釘式CLT(マッシブホルツ)のコッホ社、小幅CLTで名高い業界3位のビンダーホルツ社、物件ごとに最初から開口部を考慮してCLTパネ